



Cisco Unity 4.1 及び 4.0(x) システム要件 およびサポートされるハードウェア、 ソフトウェア、サポート ポリシー

Revised June 12, 2006



(注)

Cisco Unity バージョン 4.2 に関する要件およびサポート情報については、『Cisco Unity 4.2 システム要件』、または『Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』を参照してください。

このドキュメントでは、Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) システムをインストールするにあたっての要件、サポートされるハードウェアとソフトウェア、サポート ポリシー、およびその他の必要な情報を示します。このドキュメントは、次の 4 つのパートで構成されています。

パート 1 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) のシステム要件 (P.2)

パート 2 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるハードウェア (P.28)

パート 3 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるソフトウェア (P.37)

パート 4 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) についてのサポート ポリシー (P.42)

Cisco Unity Bridge の要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェアについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_installation_guides_list.html にある『Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software』を参照してください。



(注)

AMIS、Cisco Unity Bridge、Intel NetStructure PBX-IP メディア ゲートウェイ ユニットおよびボイス カードは、日本ではサポートの対象外です。

パート 1 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) のシステム要件

- Cisco Unity のコンフィギュレーション (P.3)
- ハードウェア要件 (P.6)
- ソフトウェア要件 (P.7)
- サードパーティ製ソフトウェアの言語要件 (P.15)
- Windows、メッセージストア、およびネットワーク要件 (P.17)
- メッセージストア クラスタリングの使用要件 (P.20)
- Domino パーティショニングの要件 (P.20)
- Exchange 5.5 をホームとするユーザが Exchange 2000、Exchange 2003、またはその両方をホームとする場合の要件 (P.21)
- Cisco Unity フェールオーバー要件 (P.22)
- Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメント システム連動要件 (P.23)
- Cisco Unity バージョン 2.x からバージョン 4.1 または 4.0(x) へのアップグレード要件 (P.23)
- セキュリティ上の推奨事項 (P.24)
- Cisco Unity の言語 (P.25)
- サポートされない構成 (P.27)
- パート 2 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるハードウェア (P.28)
- パート 3 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるソフトウェア (P.37)
- パート 4 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) についてのサポート ポリシー (P.42)

Cisco Unity のコンフィギュレーション

次の 2 つの項では、Cisco Unity ボイス メッセージ コンフィギュレーションと Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーションの特徴について説明します。

Cisco Unity ボイス メッセージ コンフィギュレーション



(注)

Cisco Unity ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは IBM Lotus Domino はサポートされません。

- Cisco Unity サーバはボイス メッセージのみ処理します。
- Cisco Unity サーバがネットワークに接続されている場合、次のことが可能です。
 - Cisco Unity と、Cisco CallManager および Cisco SIP Proxy Server との連携。
 - Cisco Unity と回線交換電話システムとの、Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) ユニットを通じた連携。
 - Cisco Unity のネットワーク上での管理。
 - ユーザによる Cisco Personal Communications Assistant (PCA) を介した Cisco Unity Assistant へのアクセス。
 - サーバによる、ウイルス チェックやバックアップなどのネットワーク ユーティリティへのアクセス。
- ユーザは、電話で、または Cisco Unity Inbox を使用 (Cisco PCA を介してアクセス) して、メッセージを確認できます。
- ユーザ アカウントに電子メール属性がある場合は、ボイスメール属性とは別個に管理する必要があります。
- 表 1 に、Cisco Unity サーバ上および別個のサーバ上でサポートされる Microsoft Exchange のバージョンを、新規にインストールする場合と Cisco Unity 3.x またはそれ以前からアップグレードする場合とに分けて示します。

表 1 Cisco Unity ボイス メッセージでサポートされるメッセージストアのバージョン

	メッセージストア (Cisco Unity サーバ上)	メッセージストア (別個のサーバ上)
新規インストール	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 のみサポート (Domino、Exchange 2003、および Exchange 5.5 はサポートされません) 	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2003 をサポート (Cisco Unity 4.1 および 4.0(5) の場合のみ) • Exchange 2000 をサポート (Domino および Exchange 5.5 はサポートされません)
3.x またはそれ以前からのアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 をサポート • Exchange 5.5 をサポート (Domino および Exchange 2003 はサポートされません) 	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2003 をサポート (Cisco Unity 4.1 および 4.0(5) の場合のみ) • Exchange 2000 をサポート • Exchange 5.5 をサポート (Domino はサポートされません)



(注)

Exchange が別個のサーバにインストールされている場合、Cisco Unity システムをインストールする前に、メッセージストア環境がすでに設定され稼動していることが前提となります。

Cisco Unity ユニファイド メッセージ コンフィギュレーション

ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity サーバは同一サイト内または複数サイト内のメッセージ ストア サーバに接続されます。

ユニファイド メッセージ サーバとして Cisco Unity サーバをインストールする作業は、次の認定を受けた担当者が行うようにしてください。

Domino 版	Lotus 認定システム管理者
Exchange 版	Microsoft 認定システム エンジニア

Cisco Unity ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションには、次の特徴があります。

- Cisco Unity サーバはボイス メッセージのみ処理します。ボイス メッセージと電子メール メッセージはメッセージ ストア サーバ上に保管されます。
- Cisco Unity サーバはネットワークに接続されるため、メッセージ ストア ディレクトリ、およびウイルス チェックやバックアップなどのネットワーク ユーティリティにアクセスできます。
- ユーザは、次の手段でメッセージを確認できます。
 - Domino の場合は、電話または電子メール クライアントを使用。
 - Exchange の場合は、電話、Cisco Unity Inbox、または電子メール クライアントを使用 (Cisco Unity Inbox には Cisco Personal Communications Assistant、つまり Cisco PCA を介してアクセスします)。
- Cisco Unity の管理は、ネットワークを介して行うこともできます。
- ユーザは、Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant にアクセスできます。
- ユーザ アカウントのボイスメール属性および電子メール属性は、Cisco Unity システム管理を使用して、単一のロケーションから管理できます。
- メッセージ ストアは Cisco Unity とは別個のサーバ上にインストールする必要があります。表 2 に、サポートされるメッセージ ストアのバージョンを、新規にインストールする場合と Cisco Unity 3.x またはそれ以前からアップグレードする場合とに分けて示します。

表2 Cisco Unity ユニファイド メッセージでサポートされるメッセージ ストアのバージョン

	メッセージ ストア (Cisco Unity サーバ上)	メッセージ ストア (別個のサーバ上)
新規インストール	ユニファイド メッセージの場合、Cisco Unity サーバへのメッセージ ストアのインストールはサポートされていません。	<ul style="list-style-type: none"> • Domino 7.0x をサポート (Cisco Unity 4.0(5) 以降の場合のみ) • Domino 6.5.x をサポート (Cisco Unity 4.0(4) 以降の場合のみ) • Domino 6.0.5 以降をサポート (Cisco Unity 4.0(4) 以降の場合のみ) • Domino 6.0.4、6.0.3、6.0.2、6.0.1、および 6.0.0 をサポート (Cisco Unity 4.0(3) 以降の場合のみ) • Domino 5.0.13 をサポート (Cisco Unity 4.0(5)、4.0(4)、4.0(2)、および 4.0(1) の場合のみ) • Domino 5.0.12、5.0.11、および 5.0.10 をサポート (Cisco Unity 4.0(5) 以前の場合のみ) • Exchange 2003 をサポート (Cisco Unity 4.0(3) 以降の場合のみ) • Exchange 2000 をサポート (Exchange 5.5 はサポートされません)
3.x またはそれ以前からのアップグレード	ユニファイド メッセージの場合、Cisco Unity サーバへのメッセージ ストアのインストールはサポートされていません。	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2003 をサポート (Cisco Unity 4.0(3) 以降の場合のみ) • Exchange 2000 をサポート • Exchange 5.5 をサポート (Domino はサポートされません)

1. IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco 1.2.3 および Cisco Unity エンジニアリング スペシャルが必要です。バージョン固有の情報については、表3の「IBM Lotus Domino、DUC for Cisco、および IBM Lotus Notes のサポートされるバージョン」を参照してください。



(注)

Cisco Unity システムをインストールする場合は、メッセージ ストア環境がすでに設定され、稼動していることが前提となります。

ハードウェア要件

- Cisco Unity の仕様を満たすサーバ。『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。



注意

Cisco TAC では、『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていないプラットフォームの Cisco Unity に関して、インストール、カスタマイズ、またはトラブルシューティングなどのサポートを提供していません。

- Cisco Unity との適合性が確認されているボイスカード (Cisco Unity を Cisco CallManager と連動させる場合には、ボイスカードは必要ありません)。P.34 の「サポートされるボイスカード」および P.29 の「サポートされる回線交換電話システム連動」を参照してください。

以前のバージョンの Cisco Unity でサポートされていた一部のボイスカードは、サポートされなくなりました。Cisco Unity バージョン 2.x からバージョン 4.0(x) ~ 4.1 にアップグレードする際に、既存のサーバにサポートされないボイスカードが存在する場合は、これらのカードを交換してから、バージョン 4.0(x) ~ 4.1 へのアップグレードを行います。

アメリカ合衆国以外で Cisco Unity システムをインストールしており、アナロググループを使用して中央局に直接接続する場合は、Intel Dialogic ボイスカードにインラインの電話会社のフィルタをインストールして、タックス インパルス信号をフィルタリングする必要がある場合があります。詳細については、ボイスカードに付属する Intel Dialogic のドキュメント、および法規制に関する注意書きを参照してください。

- ボイスカードを電話システムに接続するために必要なケーブル、ライン スプリッタ、およびアダプタ。回線交換電話システムの連動タイプ別に必要なケーブルおよびその他のコンポーネントについては、P.29 の「サポートされる回線交換電話システム連動」を参照してください。

H.100 コネクタのカードを取り付ける場合は、少なくともカードと同数のコネクタがあり、コネクタの残りが 5 つ以内に収まる H.100 ケーブルを使用してカードを接続する必要があります (すべてのカードを 1 本のケーブルで接続する必要があるため)。

ソフトウェア要件

- ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ (P.7)
- ソフトウェア要件：メッセージストア (P.10)
- ソフトウェア要件：ユーザワークステーション (P.14)

Cisco Unity サーバ上で Cisco Security Agent for Cisco Unity を実行しようとする場合、必要なソフトウェアのバージョンのうち、サポートされていないバージョンがあることに注意してください。『Cisco Security Agent for Cisco Unity リリースノート』の「ソフトウェア要件」の項を参照してください。

ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ

- Windows Server 2003 または Microsoft Windows 2000 Server のサポートされるバージョンは次の通りです。

Windows Server 2003 Enterprise Edition および Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition	<ul style="list-style-type: none"> • (ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージの両方のコンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.1(1) の英語版のみでサポート。 • (ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージの両方のコンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.0(5) の英語版、フランス語版、ドイツ語版、および日本語版でサポート。 • (ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.0(4) の英語版、フランス語版、ドイツ語版、および日本語版でサポート。 <p>Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合は、メッセージストアはサービス パック 2 が適用された Exchange 2003 である必要があります (Cisco Unity のセットアップでは、サービス パック 2 の適用は強制ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange 2003 がサポートされていないなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます)。</p>
Windows Server 2003 Standard Edition および Windows Server 2003 R2 Standard Edition	<ul style="list-style-type: none"> • (ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージの両方のコンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.1(1) の英語版のみでサポート。 • (ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージの両方のコンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.0(5) の英語版、フランス語版、ドイツ語版、および日本語版でサポート。 • (ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにおいて) Cisco Unity バージョン 4.0(4) の英語版、フランス語版、ドイツ語版、および日本語版でサポート。 <p>Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合は、メッセージストアはサービス パック 2 が適用された Exchange 2003 である必要があります (Cisco Unity のセットアップでは、サービス パック 2 の適用は強制ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange 2003 がサポートされていないなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます)。</p>

Windows 2000 Server	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity バージョン 4.1(1) の英語版のみでサポート。 • Cisco Unity バージョン 4.0(5) 以前でサポート (英語、フランス語、ドイツ語、および日本語)。
Windows 2000 Advanced Server	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity バージョン 4.1(1) の英語版のみでサポート。 • Cisco Unity バージョン 4.0(5) 以前でサポート (英語、フランス語、ドイツ語、および日本語)。



注意 Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、音声カードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、音声カードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動 (Cisco CallManager および SIP) と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。



注意 Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、Domino はサポートされません。Domino がメッセージストアの場合、Cisco Unity では IBM Lotus Notes の Cisco Unity サーバへのインストールが必要ですが、Lotus Notes は Windows Server 2003 で利用できません。

Cisco Unity は、Windows 2000 Professional または Windows 2000 Datacenter Server との適合性が確認されていません。

- 適切なバージョンの Microsoft SQL Server
 - Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition (音声ポートが 33 個以上あるシステムの場合)
 - Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000) (音声ポートが 32 個以下のシステムの場合)

その他の SQL Server および MSDE のエディションはサポートされていません。



(注) Cisco Unity フェールオーバーを使用するシステムでは、音声ポートの数に関わらず SQL Server 2000 Standard Edition が必要です。P.22 の「Cisco Unity フェールオーバー要件」も参照してください。

- Microsoft Internet Explorer 6.0
- MSXML 3.0
- Microsoft .NET Framework バージョン 1.1
- Cisco Unity を Cisco CallManager または Cisco CallManager Express と連動させる場合は、インストールしている Cisco Unity のバージョンおよび現在インストールされている Cisco CallManager または Cisco CallManager Express のバージョンと互換性のあるバージョンの Cisco Unity-CM TSP。『互換性マトリクス: Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express』を参照してください。

- Cisco TAC のサポートを受けるために必要な、次のいずれかのリモートアクセス アプリケーション
 - Microsoft Windows Terminal Services (Terminal Services は、Cisco Unity サーバのデフォルトのリモート アクセス ソフトウェアであり、Windows 2000 に付属しています)
Cisco Unity サーバでのターミナル サービスを使用した Cisco Unity のインストールまたはアップグレードは、サポートされていません。その他のターミナル サービスの制約については、使用している Cisco Unity のバージョンのリリース ノートの「制約および制限事項」の項を参照してください。
 - Symantec pcAnywhere バージョン 10.0 (pcAnywhere には、外付けのモデムを使用してください)
- Cisco Unity
- Cisco Unity のバージョンに合わせて、次のサービス パックが適用されます (Cisco Unity のセットアップ時に強制的にインストールされます)

Cisco Unity 4.1(1)	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 4
Cisco Unity 4.0(5)	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 4
Cisco Unity 4.0(4)	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 4
Cisco Unity 4.0(3)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft の技術情報 (Knowledge Base) 823980 に記載されている Blaster ワームに関する Hot fix (この Hot Fix は、MS03-039 に差し替えられました) • Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft の技術情報 (Knowledge Base) 815021 に記載されている IIS に関する Hot fix。 • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 3
Cisco Unity 4.0(2)	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 3
Cisco Unity 4.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 2 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SRP 1 (2002 年 8 月) • Windows 2000 Server SP 3

Cisco Unity サーバを、Cisco Unity と適合性のある最新の Microsoft サービス パックで更新しておくことをお勧めします。最新のサービス パックには、上記のサービス パックよりさらに新しいものが含まれていることがあるためです。さらに、毎月リリースされている Microsoft のセキュリティ アップデートで Cisco Unity サーバを更新しておくこともお勧めします。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html にある『Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge』を参照してください。

ソフトウェア要件：メッセージストア

IBM Lotus Domino と Microsoft Exchange は、Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との適合性が確認されています。

- [Domino 要件 \(P.10\)](#)
- [Exchange 要件 \(P.12\)](#)

Domino 要件



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、Domino はサポートされません。Domino がメッセージストアの場合、Cisco Unity では IBM Lotus Notes の Cisco Unity サーバへのインストールが必要ですが、Lotus Notes は Windows Server 2003 で利用できません。

Cisco Unity (Domino 版) では、次の IBM Lotus ソフトウェアが必要です。

- IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のサーバ コンポーネント (csServer) が、Cisco Unity ユーザに属するメール ファイルまたはメール ファイルの複製をホストする Domino サーバ上に必要です。
- DUC for Cisco の管理コンポーネントである csAdmin を使用して、Domino ドメインのディレクトリ データベースをアップデートする必要があります。
- IBM Lotus Notes が Cisco Unity サーバ上に必要です。

表 3 に、必須 IBM Lotus ソフトウェアと Cisco Unity (Domino 版) のサポートされるバージョンの組み合わせを示します。

表 3 IBM Lotus Domino、DUC for Cisco、および IBM Lotus Notes のサポートされるバージョン

Cisco Unity のバージョン	サポートされる Domino のバージョン	Domino サーバ上でサポートされる DUC for Cisco のバージョン	Cisco Unity サーバ上でサポートされる Notes のバージョン	DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でサポートされるオペレーティングシステム
4.1(1)	7.0x ¹ (AIX および Windows)	1.2.3	6.5.x 6.0.x	IBM AIX Windows Server 2003、 Windows 2000 Server
4.1(1)	6.5.x (AIX および Windows) 6.0.x (AIX および Windows)	1.2.3, 1.2.2 ²	6.5.x 6.0.x	IBM AIX Windows Server 2003、 Windows 2000 Server

表3 IBM Lotus Domino、DUC for Cisco、および IBM Lotus Notes のサポートされるバージョン (続き)

Cisco Unity のバージョン	サポートされる Domino のバージョン	Domino サーバ上でサポートされる DUC for Cisco のバージョン	Cisco Unity サーバ上でサポートされる Notes のバージョン	DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でサポートされるオペレーティングシステム
4.0(5)	7.0x ³ (AIX および Windows) 6.5.x (AIX および Windows) 6.0.x (AIX および Windows)	1.2.3	6.5.x 6.0.x	IBM AIX Windows Server 2003、 Windows 2000 Server
4.0(5)	6.5.x (AIX および Windows) 6.0.x (AIX および Windows) 5.0.13、5.0.12、5.0.11、5.0.10 (Windows のみ)	1.2.2 ²	6.5.x 6.0.x 5.0.13、5.0.12、5.0.11、 5.0.10	IBM AIX Windows Server 2003、 Windows 2000 Server
4.0(4)	6.5.x (AIX および Windows) 6.0.x (AIX および Windows) 5.0.13、5.0.12、5.0.11、5.0.10 (Windows のみ)	1.2.2 ^{2,4}	6.5.x 6.0.x 5.0.13、5.0.12、5.0.11、 5.0.10	IBM AIX ⁵ Windows Server 2003、 Windows 2000 Server
4.0(3)	6.0.4、6.0.3、6.0.2、6.0.1、6.0.0 5.0.12、5.0.11、5.0.10	1.2.1 ⁶	6.0.1、6.0.0 5.0.12、5.0.11、5.0.10	Windows 2000 Server
4.0(2)	5.0.13、5.0.12、5.0.11、5.0.10	1.1	5.0.11、5.0.10	Windows 2000 Server
4.0(1)	5.0.13、5.0.12、5.0.11、5.0.10	1.1	5.0.10	Windows 2000 Server

1. DUC for Cisco バージョン 1.2.3 および Cisco Unity 4.1(1) エンジニアリング スペシャル 1 が必要です。エンジニアリング スペシャル 1 を入手するには、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_note09186a0080568969.html で『Cisco Unity 4.1 Engineering Special Index』を参照してください。
2. 英語、フランス語、ドイツ語、および日本語でサポートされています。
3. DUC for Cisco バージョン 1.2.3 および Cisco Unity 4.0(5) エンジニアリング スペシャル 45 が必要です。エンジニアリング スペシャル 45 を入手するには、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_note09186a0080599ea7.html で『Cisco Unity 4.0(5) Engineering Special Index』を参照してください。
4. DUC for Cisco バージョン 1.2.1 も、Windows を実行する Domino サーバ上の Cisco Unity 4.0(4) との適合性が確認されていますが、DUC 1.2.2 を使用することをお勧めします。
5. DUC for Cisco バージョン 1.2.2 が必要です。バージョン 1.2.1 はサポートされていません。また、Domino バージョン 6.5.x または 6.0.x が必要です。Domino バージョン 5 はサポートされていません。
6. サポートされる DUC for Cisco のバージョンは 1.2.1 ですが、IBM Lotus Web サイトからダウンロードできるバージョンは 1.2 です。

**注意**

Domino Administrator の [強固なパスワード形式への変更] オプションを使用する場合は、Cisco Unity サーバに Notes バージョン 5.0.11 以降をインストールする必要があります。インストールしない場合、Cisco Unity ユーザは Cisco Personal Communications Assistant にログインできません。

Cisco Unity には、IBM Lotus のサーバまたはクライアントソフトウェアは付属していません。このソフトウェアはシスコまたは IBM Lotus から購入する必要があります。

Critical Fixpack はすべて自動的にサポートされます。

Domino 要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Windows、メッセージストア、およびネットワーク要件 \(P.17 \)](#)
- [メッセージストア クラスタリングの使用要件 \(P.20 \)](#)
- [Domino パーティショニングの要件 \(P.20 \)](#)

Exchange 要件

Microsoft Exchange Server のサポートされるバージョンは次の通りです。

- Exchange Server 2003 Enterprise Edition :
 - ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.0(3) 以降のみ。
 - ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.0(5) 以降のみ。また、Exchange Server 2003 サービス パック 2 が必要です (Cisco Unity のセットアップでは、サービス パック 2 の適用は強制ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange Server 2003 がサポートされていなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます)。
- Exchange Server 2003 Standard Edition
 - ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.0(3) 以降のみ。
 - ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.0(5) 以降のみ。また、Exchange Server 2003 サービス パック 2 が必要です (Cisco Unity のセットアップでは、サービス パック 2 の適用は強制ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange Server 2003 がサポートされていなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます)。



(注) Exchange Server 2003 で利用可能な Voice Mail Run-Time Edition はありません。



注意

Cisco Unity 3.x は Exchange 2003 をサポートしていません。Exchange 2003 をサポートする Cisco Unity 4.x にアップグレードするには、Exchange 2003 Forestprep を実行する前に Cisco Unity バージョン 4(3) 以降にアップグレードする必要があります。この順序でアップグレードを行わないと、Forestprep が Active Directory に加えた変更によって Cisco Unity が機能しなくなります (Cisco Unity バージョン 4.0(2) および 4.0(1) も Exchange 2003 をサポートしませんが、これらのバージョンは、Forestprep が Active Directory に加えた変更による影響を受けません)。

- Exchange 2000 Enterprise Server の Voice Mail Run-Time Edition (Cisco Unity にはこのバージョンが同梱されており、ボイス メッセージのコンフィギュレーションのみで使用)
- Exchange 2000 Server Enterprise Edition
- Exchange 2000 Server Standard Edition
- Exchange 2000 Conferencing Server (異なるサーバ上のユニファイド メッセージ コンフィギュレーションのみでサポートされる)
- 2006 年 1 月 1 日より前にインストールされた Cisco Unity システムに限り、Voice Mail Run-Time Edition of Exchange Server バージョン 5.5 または Exchange Server (Standard Edition) バージョン 5.5。



注意

2006 年 1 月 1 日より Exchange Server 5.5 は、新規インストールされた Cisco Unity のメッセージストアとして利用できなくなりました。これはすべてのバージョンの Cisco Unity と、ユニファイド メッセージ および ボイス メッセージ両方のコンフィギュレーションに適用されます。この日付以降に、お客様が Cisco Unity システムを新規インストールして、Exchange 5.5 をメッセージストアとして使用するように Cisco Unity を設定した場合、Exchange Server 2003 または Exchange 2000 Server にアップグレードされるまで、Cisco TAC はシステムをサポートを行いません。

Microsoft は Exchange 5.5 のサポートを 2005 年 12 月 31 日に終了しました。可能な限り、2005 年以前にインストールされた Cisco Unity システムについて、シスコは Exchange 5.5 をメッセージストアとしてサポートします。ただし、Exchange 5.5 の問題が解決しない場合、お客様ご自身で Exchange 2003 または Exchange 2000 にアップグレードする必要があります。Exchange のアップグレードについての詳細は、『Cisco Unity リンコンフィギュレーション アップグレード ガイド (Microsoft Exchange 版)』の「Cisco Unity システムでの Exchange のアップグレード」の章を参照してください。Microsoft のサポートについては、記事『Exchange Server 5.5 Rides into the Sunset (Exchange 2000 Server, Saddle Up!)』を Microsoft Exchange Server TechCenter の Web サイトで参照してください。

- Exchange 2000 Enterprise Server の Voice Mail Run-Time Edition で使用する Cisco Unity ボイスメッセージを除き、すべてのコンフィギュレーションに対して Client Access Licenses (CAL) を購入する必要があります。

お客様ご自身の Exchange Server 2003 または Exchange 2000 Server のコピーを用意してください (Cisco Unity に同梱の Exchange 2000 Voice Mail Run-Time Edition を使用している場合を除く)。



(注)

Cisco Unity フェールオーバーを使用するシステムでは、Exchange をプライマリ サーバやセカンダリサーバとは別個のサーバ上で稼働させる必要があります。P.22 の「Cisco Unity フェールオーバー要件」も参照してください。

Cisco Unity のバージョンに合わせて、次の Exchange サービス パックが適用されます (Cisco Unity のセットアップ時に強制的にインストールされます)。

Cisco Unity 4.1(1)	<ul style="list-style-type: none"> • ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、Exchange Server 2003 SP 2 (Exchange 2003 使用時) Cisco Unity のセットアップでは、この要件は必須ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange Server 2003 がサポートされていなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます。 • ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションでは、Exchange Server 2003 SP 1 (Exchange 2003 使用時) • Exchange 2000 Server SP 3 (Exchange 2000 使用時) • Exchange 2000 Server Post-Service Pack 3 Update Rollup (KB 870540) (Exchange 2000 使用時) • Exchange Server 5.5 SP 4 (Exchange 5.5 使用時)
Cisco Unity 4.0(5)	<ul style="list-style-type: none"> • ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、Exchange Server 2003 SP 2 (Exchange 2003 使用時) Cisco Unity のセットアップでは、この要件は必須ではありません。ただし、ボイス メッセージ コンフィギュレーションで Exchange Server 2003 がサポートされていなかったという問題が、このサービス パックによって解決されます。 • ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションでは、Exchange Server 2003 SP 1 (Exchange 2003 使用時) • Exchange 2000 Server SP 3 (Exchange 2000 使用時) • Exchange 2000 Server Post-Service Pack 3 Update Rollup (KB 870540) (Exchange 2000 使用時) • Exchange Server 5.5 SP 4 (Exchange 5.5 使用時)
Cisco Unity 4.0(4)	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 Server SP 3 (Exchange 2000 使用時) • Exchange Server 5.5 SP 4 (Exchange 5.5 使用時)
Cisco Unity 4.0(3)、4.0(2)、および 4.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 Server SP 2 (Exchange 2000 使用時) • Exchange Server 5.5 SP 4 (Exchange 5.5 使用時)

Cisco Unity サーバを Cisco Unity との使用に適合した最新の Exchange サービス パックで更新しておくことをお勧めします。最新のサービス パックには、上記のサービス パックよりさらに新しいものが含まれていることがあるためです。さらに、毎月リリースされている Microsoft のセキュリティアップデートで Cisco Unity サーバを更新しておくこともお勧めします。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html にある『*Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge*』を参照してください。

Exchange 要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Windows、メッセージストア、およびネットワーク要件 \(P.17\)](#)
- [メッセージストア クラスタリングの使用要件 \(P.20\)](#)
- [Exchange 5.5 をホームとするユーザが Exchange 2000、Exchange 2003、またはその両方をホームとする場合の要件 \(P.21\)](#)

ソフトウェア要件：ユーザワークステーション

- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるオペレーティングシステム。『*互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。次の場合に、互換性のあるオペレーティングシステムが必要です。
 - Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合。
 - ユーザが Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にアクセスする場合。ユーザは Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant と Cisco Unity Inbox にアクセスします。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるメール クライアント。『*互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。互換性のあるメール クライアントは、Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが ViewMail for Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合に必要です。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるインターネット ブラウザ。『*互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。Cisco PCA にアクセスするためには、互換性のあるブラウザが必要です。

サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

P.16の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」に記載されるアプリケーションの言語要件は、Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによって決まります。

表 4 に、French、German、Japanese、および U.S. English の各ロケールに必要な言語を示します。この表に記載のないロケールについては、すべてのソフトウェアにアメリカ英語バージョンが必要です。

Cisco Unity サーバ上のロケールは、インストール済みの Cisco Unity の言語の 1 つと一致させる必要があります。たとえば、ロケールに French を選択している場合、フランス語の Cisco Unity システム プロンプト セットもインストールする必要があります。



注意

Cisco Unity 4.1(1) はアメリカ英語でのみ利用できます。Cisco Unity 4.1(1) のインストールは、アメリカ英語バージョンの Windows 2000 Server または Windows Server 2003 がインストールされているサーバでのみ可能です。この場合、Windows のロケールを English (United States) 以外に変更することはできません。また、既存の Cisco Unity システムがアメリカ英語以外を使用している場合、バージョン 4.1(1) へはアップグレードできません。

表 4 サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

Windows のロケール (Cisco Unity サーバ上)	サードパーティ製ソフトウェアの言語要件
French	<p>次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.16 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にフランス語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : フランス語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要
German	<p>次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.16 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にドイツ語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : ドイツ語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要
Japanese	<p>次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.16 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) に日本語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : 日本語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要

表 4 サードパーティ製ソフトウェアの言語要件（続き）

Windows のロケール (Cisco Unity サーバ上)	サードパーティ製ソフトウェアの言語要件
U.S. English	すべてのソフトウェア（P.16の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照）にアメリカ英語バージョンが必要です。
この表に記載のないロケール	すべてのソフトウェア（P.16の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照）にアメリカ英語バージョンが必要です。

サードパーティ製ソフトウェアのリスト

Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによっては、表 4 に示す言語に次のソフトウェアをインストールする必要があります。

- Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook
- IBM Lotus Domino
- IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco
- IBM Lotus Notes
- Microsoft Exchange
- Microsoft Internet Explorer
- Microsoft MDAC
- Microsoft MSXML
- Microsoft Outlook
- Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition または Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000)
- サポートされるバージョンの Microsoft Windows 2000 Server または Windows Server 2003
- Microsoft Windows Terminal Services
- Symantec pcAnywhere

Windows、メッセージストア、およびネットワーク要件

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unity ボイス メッセージの要件 \(P.17\)](#)
- [Cisco Unity ユニファイド メッセージの要件 \(P.18\)](#)

Cisco Unity ボイス メッセージの要件

ほとんどのボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、メッセージ ストアやディレクトリ、および各種ネットワーク ユーティリティにアクセスできるように、Cisco Unity サーバをネットワークに接続する必要があります。ただし、Exchange 2000 が Cisco Unity サーバにインストールされていて、そのサーバがフェールオーバー用に設定されておらず、Cisco Unity がボイス カードを使用して電話システムと統合され、そのコンフィギュレーションではネットワーク接続が不要な場合は例外となります。

表 5 Cisco Unity ボイス メッセージのウィンドウ、メッセージストア、およびネットワーク要件

要件の種別	要件
Windows Server 2003 ドメイン	<p>Cisco Unity サーバは、既存の Windows Server 2003 ドメインのメンバサーバです。</p> <p>Cisco Unity バージョン 4.0(5) および 4.1(1) では、Cisco Unity サーバは Windows Server 2003 または Windows 2000 Server を実行できます。Cisco Unity サーバが Windows Server 2003 を実行している場合は、メッセージストアは Exchange Server 2003 である必要があります。</p> <p>Cisco Unity バージョン 4.0(1) ~ 4.0(4) では、Cisco Unity サーバは Windows 2000 Server を実行している必要があります。これらのバージョンの場合、Windows Server 2003 は、ボイス メッセージ コンフィギュレーションではサポートされません。</p>
Windows 2000 Server または Windows NT ドメイン	<p>Cisco Unity サーバは、サーバ自身のドメインにおけるドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバ (DC/GC)、または既存の Windows 2000 ドメインまたは Windows NT ドメインのメンバサーバです。</p>
メッセージストア	<p>Domino はサポートされません。</p> <p>Exchange 2000 Server は、Cisco Unity サーバあるいは別個のサーバのどちらにインストールしても構いません。Cisco Unity 3.x からアップグレードする場合は、Exchange 5.5 は、Cisco Unity サーバあるいは別個のサーバのどちらにインストールしても構いません。</p> <p>Cisco Unity バージョン 4.0(5) および 4.1(1) では、Exchange Server 2003 は別個のサーバ上にインストールする必要があります。Cisco Unity バージョン 4.0(1) ~ 4.0(4) では、Exchange Server 2003 はボイス メッセージ コンフィギュレーションではサポートされません。</p> <p>表 1 の「Cisco Unity ボイス メッセージでサポートされるメッセージストアのバージョン」も参照してください。</p>

表 5 Cisco Unity ボイス メッセージのウィンドウ、メッセージストア、およびネットワーク要件 (続き)

要件の種別	要件
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークを使用する場合、最低 10 Mbps の最小ネットワーク接続。 • 最高 200 ミリ秒のネットワーク遅延。 • Cisco Unity フェールオーバーを構成する場合は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。 • Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。 - G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。 - ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

Cisco Unity ユニファイド メッセージの要件

Cisco Unity は、別個のサーバ上にインストールされた Domino または Exchange を使用するユニファイドメッセージを提供します。メッセージストア、ディレクトリ、各種ネットワーク ユーティリティに接続できるように、Cisco Unity サーバをネットワークに接続する必要があります。

表 6 Cisco Unity ユニファイド メッセージのウィンドウ、メッセージストア、およびネットワーク要件

要件の種別	要件
Windows 2003 ドメイン	<p>Cisco Unity サーバは、既存の Windows Server 2003 ドメインのメンバサーバです。</p> <p>Cisco Unity サーバが Windows Server 2003 を実行している場合、Cisco Unity の接続先であるメッセージストアサーバ(パートナー Exchange サーバ)は Exchange 2003 を実行している必要があります。</p> <p>Domino はサポートされません。</p>
Windows 2000 または Windows NT ドメイン	<p>Cisco Unity サーバは、通常、既存の Windows 2000 ドメインまたは Windows NT ドメインのメンバサーバになります。</p>
メッセージストア	<p>Cisco Unity (Domino 版) の場合：Domino は別個のサーバ上にインストールする必要があります。表 2 「Cisco Unity ユニファイド メッセージでサポートされるメッセージストアのバージョン」も参照してください。Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、Domino はサポートされません。</p> <p>Cisco Unity (Exchange 版) の場合：Exchange は別個のサーバ上にインストールする必要があります。Cisco Unity サーバでは、既存の Exchange 組織で Exchange メールボックスを提供します。表 2 の「Cisco Unity ユニファイド メッセージでサポートされるメッセージストアのバージョン」も参照してください。</p>

表 6 Cisco Unity ユニファイド メッセージのウィンドウ、メッセージストア、およびネットワーク要件（続き）

要件の種別	要件
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 最低 100 Mbps の接続を推奨します。 • 最高 200 ミリ秒のネットワーク遅延。 • Cisco Unity フェールオーバーを構成する場合は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。 • Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。 - G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。 - ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴については、[P.3 の「Cisco Unity のコンフィギュレーション」](#)を参照してください。

メッセージストアクラスタリングの使用要件

次の各項を参照してください。

- [Domino 要件 \(P.20\)](#)
- [Exchange 要件 \(P.20\)](#)

Domino 要件

- 同じ Domino サーバ上または別個の Domino サーバ上のクラスタリングがサポートされています (同じ Domino サーバ上のクラスタリングは、Domino パーティショニングの使用を前提としています。P.20 の「[Domino パーティショニングの要件](#)」も参照してください)。
- クラスタ化されたサーバはすべて、各 Cisco Unity ユーザのメール ファイルの複製を持つ必要があります。
- csServer (IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のサーバ コンポーネント) を、クラスタ化されたサーバすべてにインストールする必要があります。

Exchange 要件

Exchange クラスタでユーザにサービスを提供する場合、Cisco Unity には次の要件があります。

- Exchange 2003 クラスタリングは Cisco Unity 4.0(3) 以降でサポートされる。
- Exchange 2000 クラスタリングはすべてのバージョンの Cisco Unity 4.0(x) ~ 4.1 でサポートされる。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity をインストールしない。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity Voice Connector for Microsoft Exchange をインストールしない。

Exchange 5.5 クラスタリングはサポートされていません。

Exchange クラスタをホームとする Cisco Unity ユーザのメールボックスがサポートされます。ただし、クラスタ化された Exchange サーバを運用するには、特別なハードウェア (シスコ非提供品) と、Windows および Exchange クラスタリングの高度な知識が必要です。シスコから Exchange クラスタのコンフィギュレーションまたはサポートに関するヘルプは提供されないため、お客様ご自身で Exchange クラスタのサポートを入手してください。

Domino パーティショニングの要件

- Domino パーティショニングは、Cisco Unity バージョン 4.1(1)、4.0(5)、および 4.0(4)、さらに IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco バージョン 1.2.3 および 1.2.2 でサポートされています。
- 各パーティションは固有の IP アドレスを持つ必要があります。

Exchange 5.5 をホームとするユーザが Exchange 2000、Exchange 2003、またはその両方をホームとする場合の要件

Exchange 5.5 をホームとする Cisco Unity ユーザが、Exchange 2000、Exchange 2003、またはその両方をホームとする場合は、Cisco Unity をインストールする前に、混合モード メッセージに設定します。これには次の要件があります。

- 既存の Exchange 5.5 サイトの 1 つに Exchange 2000 サーバ、Exchange 2003 サーバ、またはその両方のサーバをインストールする。
- Exchange バージョンの Active Directory コネクタをインストールする。
- Exchange 5.5 ディレクトリと Active Directory の間でデータの複製を取るよう受信者側の接続許可書を設定する (複数サイトを保有する Exchange 組織には、複数の Active Directory コネクタと複数の接続許可書があります)。Exchange 5.5 をホームとする Cisco Unity ユーザを Cisco Unity システム管理を使用して追加できるようにする場合、この接続許可書に対する [プロパティ] ダイアログボックスの [詳細設定] タブで [この接続許可書を、接続した Exchange 組織用のプライマリ接続許可書にする] チェックボックスをオンにする必要があります。

Cisco Unity フェールオーバー要件

- プライマリ サーバとセカンダリ サーバは、両方とも Cisco Unity との適合性が確認されている必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同一のプラットフォーム オーバーレイを持つ必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバを同じドメインのメンバサーバにする必要があります（ドメイン コントローラにはできません）。どちらの Cisco Unity サーバにも Active Directory をインストールしないでください。
- Cisco Unity サーバ名は 15 文字以内である必要があります。また、サーバ名はプライマリ サーバとセカンダリ サーバで異なる必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが、別のコンピュータ上にある同一のメッセージストアに接続される必要があります。（このように分けることにより、プライマリ サーバまたはセカンダリ サーバのいずれかが機能しなくなった場合でも、メッセージの利用が可能になります）。
- Cisco Unity サーバにインストールされる IBM Lotus ソフトウェアは、Lotus Notes のみです。その他すべての IBM Lotus ソフトウェアは Cisco Unity サーバ以外のコンピュータに配置されます。
- Cisco Unity サーバにインストールされる Exchange ソフトウェアは、管理ソフトウェアのみです。Exchange ソフトウェアのフルバージョンは、Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールされます。
- SQL Server 2000 Standard Edition は必ず両方の Cisco Unity サーバにインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity フェールオーバーを使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリ サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリサーバに指定します。
- 両方の Cisco Unity サーバは同一の Cisco CallManager サーバ、SIP プロキシ サーバ、または回線交換電話システムに接続する必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバをネットワークに接続し、最低 100 Mbps の信頼性の高い接続を確立する必要があります。ネットワークに接続せずにフェールオーバーをインストールすることはできません。
- フェールオーバーは、ネットワーク接続のないものを除き、サポートされているあらゆる Cisco Unity コンフィギュレーションで使用できます。
- Cisco Unity と SQL Server 2000 は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方に、同一のドメイン アカウントでインストールする必要があります。
- この 2 つの Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスと SQLSERVERAGENT サービスは、両方のサーバ上でローカル管理者グループのメンバーとして定義されている、同一のドメイン アカウントを使用するよう構成する必要があります。これらのサービスは、ローカル システムとして実行されるよう構成することはできません。プライマリ サーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリ サーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。

Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメント システム 連動要件

- Cisco Unity システム バージョン 4.0(3) またはそれ以降。
- ソフトウェア バージョンが 4.0.4 またはそれ以降の Percipia Networks Transient Communications Engine (PTCE) サーバ。
- Exchange 2000 または Exchange 2003 の環境で Windows 2000 あるいは Windows 2003 のドメインにインストールされた Cisco Unity (Exchange 5.5、Windows NT、または Lotus Domino 環境へのホスピタリティ機能のインストールはいずれもサポートされていません)。
- Cisco Unity が Cisco Unity の仕様を満たすサーバにインストールされていること。各サーバのプラットフォームでサポートされる最大のボイス メッセージ ユーザ数には、すべての通常ユーザとホテル ゲストが含まれます。『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。

Cisco Unity ホスピタリティ機能は、Cisco Unity フェールオーバーではサポートされません。

Cisco Unity バージョン 2.x からバージョン 4.1 または 4.0(x) へのアップグレード要件

- Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) システムのすべての要件。



注意

Cisco Unity バージョン 4.1 と 4.0(x) の要件は、バージョン 2.x の要件と異なります。Cisco TAC のサポートを受けるには、システムが Cisco Unity 4.x の基準を満たしている必要があります。

- Cisco Unity システム バージョン 2.3(4.104) またはそれ以降。これより前のバージョンからのアップグレードはサポートされません (使用しているシステムが、指定バージョンより前のバージョンである場合は、Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) を新規のシステムとしてインストールする必要があります。この場合、以前のシステムでの Cisco Unity のデータはすべて失われます)。
- ActiveFax は、Cisco Unity サーバ上でも別個のサーバ上でもサポートされなくなりました。
- ネットワーク接続または大容量リムーバブル ストレージ デバイス。これを使用すると、既存の Cisco Unity 2.x システムからエクスポートしたユーザおよびその他の情報を保存して、4.1 または 4.0(x) システムにインポートできます。

セキュリティ上の推奨事項

SSL を使用するための Cisco Unity の設定

セキュリティ向上のため、Secure Sockets Layer (SSL) プロトコルを使用するように Cisco Unity を構成することを推奨します。SSL を使用しないと、データがネットワーク上にクリアテキストで送られる、次のような状況が発生します。

- ユーザが Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にログオンするとき、資格情報が Cisco Unity にクリアテキストで送信される。
- Cisco Unity システム管理およびステータス モニタが匿名認証(統合 Windows 認証ではなく)を使用するように構成されているとき、資格情報が Cisco Unity にクリアテキストで送信される。
- Mobile Message Access for BlackBerry が Cisco Unity バージョン 4.1(1) 以降で Microsoft Exchange と共に使用されているとき、データが Cisco Unity サーバと BlackBerry サーバの間で、ユーザの電話パスワードも含めてクリアテキストで送信される。

また、ユーザが Cisco PCA および Cisco Unity システム管理のページで入力する情報は(使用する認証方法に関わらず)暗号化されません。

SSL は公開キー暗号化方式を使用してサーバ/クライアント間のセキュアな接続を実現し、デジタル証明書を使用してサーバまたはサーバとクライアントを認証します。デジタル証明書は、組織やエンティティ(たとえば、コンピュータなど)の身元を証明する、暗号化されたデータを含むファイルです。

SSL プロトコルを使用すれば、ユーザの資格情報、ユーザが Cisco Unity システム管理や Cisco PCA のページで入力した情報、および Cisco Unity サーバと BlackBerry サーバ間の通信がすべて、ネットワーク経由でのデータ送信時に暗号化されます。また、SSL を使用するように Cisco Unity を設定した場合には、ユーザが Cisco Unity システム管理、ステータス モニタ、および Cisco PCA へのアクセスを試みるたびに、接続先が本当の Cisco Unity サーバであり、それを装った偽のエンティティでないことをブラウザが確認します。その後で、ユーザはログオンを許可されます

SSL を使用するように Cisco Unity を設定する方法については、『Cisco Unity インストレーション ガイド』および『Cisco Unity Security Guide』で説明しています。

その他の考慮事項および推奨事項

- Cisco Unity は、Microsoft Internet Information Server (IIS) およびその他の Windows コンポーネントを使用するため、Microsoft Web サーバやアプリケーション サーバの場合と同じセキュリティ上の攻撃を受けやすくなります。ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを保護するには、Microsoft の推奨事項およびガイドラインを参照してください。
- 『Cisco Unity インストレーション ガイド』の指示に従ってインストールした Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) システムは、W32.Slammer ワームから保護されます。ただし、サードパーティ製アプリケーション(たとえば、Dell OpenManage IT Assistant、Hewlett-Packard Insight Manager、Hewlett-Packard OpenView、VERITAS Backup Exec、VERITAS NetBackup など)によってインストールされた MSDE には、攻撃に対する脆弱性があります。詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_tech_note09186a008013435f.shtmlにある技術サポート情報『Cisco Unity 3.x and 4.0 Are Vulnerable to W32.Slammer Worm』の「Detecting and Patching Additional Instances of MSDE on the Cisco Unity Server」の項を参照してください。

Cisco Unity の言語



注意

Cisco Unity 4.1(1) はアメリカ英語でのみ利用できます。Cisco Unity 4.1(1) のインストールは、アメリカ英語バージョンの Windows 2000 Server または Windows Server 2003 がインストールされているサーバでのみ可能です。この場合、Windows のロケールを English (United States) 以外に変更することはできません。また、既存の Cisco Unity システムがアメリカ英語以外を使用している場合、バージョン 4.1(1) へはアップグレードできません。

表 7 は、Cisco Unity バージョン 4.0(5) 以前のコンポーネントが利用できる言語の一覧です。

表 7 Cisco Unity の言語

言語	システムプロンプト	テキスト / スピーチ	Cisco Unity システム管理	Cisco PCA	ViewMail for Outlook	DUC for Cisco ¹	管理者およびユーザのドキュメント	ロケール (LCID) コード
Arabic (ARA)	ARA	適用可能な言語なし	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU ²	1025
Australian English (ENA)	ENA	ENU または ENG を使用	ENU	ENU	ENU	International English (INT_EN)	ENU	3081
Brazilian Portuguese (PTB)	PTB	PTB	ENU	PTB ³	PTB ³	Portuguese (PT) ⁴	ENU	1046
Canadian English (ENC)	ENC	ENU	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	4105
Canadian French (FRC)	FRC	FRC	FRA ³	FRA ⁵	FRA ³	French (FR)	ENU ⁶	3084
Chinese Cantonese (Hong Kong) (ZHH)	ZHH	ZHH	ENU	ZHH ³	ZHH ³	English (EN)	ENU	3076
Chinese Mandarin (Mainland) (CHS)	CHS	CHS ⁷	ENU	CHS ³	CHS ³	Simplified Chinese (ZH) ⁴	ENU	2052
Colombian Spanish (ESO)	ESO	ESP	ENU	ESO ³	ESO ³	Spanish (ES) ⁴	ENU	9226
Czech (CSY)	CSY	適用可能な言語なし	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	1029
Danish (DAN)	DAN	DAN	ENU	DAN ³	DAN ³	English (EN)	ENU	1030
Dutch (NLD)	NLD	NLD	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	1043
European Portuguese (PTG)	PTG	PTG	ENU	ENU	ENU	Portuguese (PT) ⁴	ENU	2070
European Spanish (ESP)	ESP	ESP	ENU	ESP ³	ESP ³	Spanish (ES) ⁴	ENU	1034
French (FRA)	FRA	FRA	FRA ³	FRA ⁵	FRA ³	FRA	ENU ⁶	1036
German (DEU)	DEU	DEU	DEU ³	DEU ⁵	DEU ³	German (DE)	ENU ⁶	1031
Hungarian (HUN)	HUN	ENU	ENU	HUN ⁵	HUN ³	English (EN)	ENU ⁸	1038
Italian (ITA)	ITA	ITA	ENU	ITA ³	ITA ³	Italian (IT) ⁴	ENU	1040
Japanese (JPN)	JPN	JPN ⁷	JPN	JPN	JPN	Japanese (JP)	JPN ⁹	1041

表 7 Cisco Unity の言語 (続き)

言語	システム プロンプト	テキスト/ スピーチ	Cisco Unity シス テム管理	Cisco PCA	ViewMail for Outlook	DUC for Cisco ¹	管理者および ユーザの ドキュメント	ロケール (LCID) コード
Korean (KOR)	KOR	KOR	ENU	KOR ³	KOR ³	Korean (KOR) ⁴	ENU	1042
New Zealand English (ENZ)	ENZ	ENU または ENG を使用	ENU	ENU	ENU	International English (INT_EN)	ENU	5129
Norwegian (NOR)	NOR	NOR	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	1044
Swedish (SVE)	SVE	SVE	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	1053
Taiwan Mandarin (CHT)	CHT	CHT	ENU	CHT ³	CHT ³	Chinese Taiwan (ZH_TW) ⁴	ENU	1028
TTY English (ENX)	ENX	サポ ー ト 対 象 外	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	33810
U.S. English (ENU)	ENU	ENU	ENU	ENU	ENU	English (EN)	ENU	1033
UK English (ENG)	ENG	ENG	ENU	ENU	ENU	International English (INT_EN)	ENU	2057

1. ユーザワークステーション (csClient) および Domino サーバ (csAdmin と csServer) 用のバージョン 1.2.2。DUC for Cisco は、カラムに示された固有の言語コードを使用します。
2. 『Cisco Unity 電話メニュー』(カード) は、バージョン 4.0(4) 用のみ翻訳されています。このカードは、http://www.ciscounitytools.com/DOC_Unity40_Translated.htm から入手可能です。管理者のドキュメント、およびその他のバージョンのユーザドキュメントは、英語版のみとなります。
3. ユーザインターフェイスは翻訳されていますが、ヘルプはアメリカ英語版のみとなります。
4. csClient だけに使用可能な言語。csAdmin および csServer に適用可能な言語はありません。
5. ユーザインターフェイスが翻訳されています。バージョン 4.0(1) のヘルプも翻訳されており、すべての後続バージョンの Cisco PCA にも使用されます。
6. ユーザのドキュメントは、バージョン 4.0(1) 用のみ翻訳されています。このドキュメントは、http://www.ciscounitytools.com/DOC_Unity40_Translated.htm から入手可能です。管理者のドキュメントおよび 4.0(2) 以降のユーザのドキュメントは、英語版のみとなります。
7. 中国語および日本語のテキスト / スピーチには、特別な設定が必要です。『Cisco Unity システム アドミニストレーション ガイド』の「言語」の章にある「テキスト / スピーチ言語の指定」の項を参照してください。
8. ユーザのドキュメントは、バージョン 4.0(4) 用のみ翻訳されています。このドキュメントは、http://www.ciscounitytools.com/DOC_Unity40_Translated.htm から入手可能です。管理者のドキュメント、および他のバージョンのユーザドキュメントは、英語版のみとなります。
9. 日本語のドキュメントは、http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/product/hs/iptel/unity/prod_literature.shtml および http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_cu.shtml から入手可能です。

サポートされない構成

次の構成は、Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) ではサポートされていません。

- 1 つの Cisco Unity サーバ内で個別の IP アドレスを持つデュアル ネットワーク インターフェイスカード (NIC) を使用した、ネットワーク負荷バランシング (1 つの IP アドレスを共有するデュアル NIC は、ネットワークのフォールトトレランスのために、Cisco Unity で構成される場合があります)。
- このドキュメントまたは相互参照ドキュメントにおいて、必須またはサポート対象として記載されている以外のアプリケーションまたはサービスを Cisco Unity サーバ上で実行すること。
特に、Cisco Unity サーバ上でのファックス サーバの実行は、サポートされていません (以前のバージョンの Cisco Unity で使用可能だったファックス サーバ ActiveFax は、Cisco Unity サーバ上でも別個のファックス サーバ上でもサポートされなくなりました)。
- Cisco Unity を Windows 2000 Datacenter Server 上で実行すること。
- Exchange 2000 Conferencing Server は、Cisco Unity サーバにインストールした場合はサポートされないが、ネットワークにインストールした場合はサポートされる。
- Cisco Unity サーバにおけるソフトウェア ベースの RAID。
- フォレスト中の Exchange 5.5 サーバのいずれかがドメイン コントローラ / グローバルカタログ サーバでもある Active Directory フォレスト内で (Exchange 5.5 をホームとする Cisco Unity ユーザが存在しない場合でも)、Exchange 2000 サーバと Exchange 5.5 サーバの両方を使って Cisco Unity を実行すること。Microsoft もこの構成はサポートしていません。詳細については、Microsoft サポート Web サイト上のサポート技術情報 (Knowledge Base) 275127 を参照してください。

パート 2 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるハードウェア

- サポートされる電話システム連動 (P.29)
- サポートされるボイスカード (P.34)
- AMIS を Cisco ゲートウェイと共に使用する際の推奨事項 (P.35)
- サポートされるハードウェア (オプション) (P.36)
- サポートされないハードウェア (P.36)
- パート 1 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) のシステム要件 (P.2)
- パート 3 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるソフトウェア (P.37)
- パート 4 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) についてのサポートポリシー (P.42)

サポートされる電話システム連動

Cisco Unity は、適合性が確認された IP 電話システム（「サポートされる IP 電話システム連動」を参照）および適合性が確認された回線交換電話システム（「サポートされる回線交換電話システム連動」を参照）と連動します。Cisco Unity は、デュアル電話システム連動

（http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_configuration_guide09186a0080211b2e.html にある『Dual Phone System Integration Guide for Cisco Unity 4.0』を参照）もサポートします。

最近適合性が確認された電話システム連動用の電話コンフィギュレーション ファイル（.ini ファイル）のうち、Cisco Unity CD に未収録のファイルは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity> の「Other Cisco Unity Components Software Download」ページからダウンロードできます。

サポートされる IP 電話システム連動

- Cisco CallManager
- Cisco CallManager Express
- Cisco SIP Proxy Server

また、Cisco CallManager の Cisco Unity バージョン 4.0(3) 以降との連動では、リモートサイトで Cisco IOS プラットフォームにインストールされた Survivable Remote Site Telephony（SRST）をサポートします。

Cisco CallManager および Cisco CallManager Express のサポートされるバージョンについては、『互換性マトリクス：Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express』を参照してください。

AMIS Networking は、Cisco Unity が Cisco CallManager Express バージョン 3.2 以前と連動している場合、機能しません。http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl で Bug Toolkit の警告 CSCsb81232 を参照してください。

サポートされる回線交換電話システム連動



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動（Cisco CallManager および SIP）と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。

表 8 サポートされる回線交換電話システム連動

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードとPBX-IPメディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Alcatel 4400	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Avaya Definity G3	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Avaya Definity Gx	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> PBXLink ボックス RS-232 シリアル ケーブル デジタル ケーブル アナログ ケーブル
Avaya Definity ProLogix	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Avaya Merlin Legend	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Avaya S8300、 Avaya S8500、および Avaya S8700	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Centrex (Avaya 1AESS、 Avaya 5ESS、 および Nortel DMS100)	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル 外付け統合モデム アナログ ケーブル フェールオーバーのみ : 9 ピン モデム データ スプリッタ
ECI Coral III (Tadiran Coral III という 商品名でも販売されて いる)	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ : 9 ピン モデム データ スプリッタ
Ericsson MD-110	シリアル	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ : 9 ピン モデム データ スプリッタ

表 8 サポートされる回線交換電話システム連動 (続き)

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードとPBX-IPメディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Fujitsu 9600	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Intecom E14 Millennium	シリアル (SMDI)	Intel Dialogic D/240PCI-T1 (24 ポートの T1 カード) のみ。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル T1 ケーブル
Intecom IBX S/80	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Matra 6500	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Mitel SX-200	DTMF (ONS)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Mitel SX-2000	DTMF (ONS)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
NEC NEAX 2000 MCI	シリアル (MCI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
NEC NEAX 2400 MCI	シリアル (MCI)	すべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブルまたは T1 ケーブル アナログ ボイス接続によるフェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続

表 8 サポートされる回線交換電話システム連動 (続き)

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードと PBX-IP メディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Nortel Meridian 1	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • PBXLink ボックス • RS-232 シリアル ケーブル • デジタル ケーブル • アナログ ケーブル
Nortel Meridian 1 (Succession および SL 1 を含む)	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
QSIG または DPNSS 電話システム (Cisco Unity 4.0(4) 以降の場合のみ)	IP	N/A	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco EGW 2200 • LAN 接続
Rockwell Spectrum ACD	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアル ケーブル • アナログ ケーブル • フェールオーバーのみ : 9 ピン モデム データ スプリッタ
Rolm 9751 9005	デジタル	デジタル (Rolm) PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
Rolm 9751 9006	デジタル	デジタル (Rolm) PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
Siemens 9751 9006i	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • アナログ ケーブル
Siemens Hicom 300 E (European)	DTMF	アナログ PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • アナログ ケーブル • LAN 接続
Siemens Hicom 300 シリーズ E CS	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • アナログ ケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
Syntegra ITS (Cisco CallManager との既存の連動が必要)	シリアル (SMDI)	ボイスカードは使用しない。	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアル ケーブル • Syntegra SMDI ゲートウェイ • VoIP ゲートウェイ経由の QSIG E1/T1 接続 • フェールオーバーのみ : 9 ピン モデム データ スプリッタ

表 8 サポートされる回線交換電話システム連動（続き）

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードとPBX-IPメディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Teltronics 20-20 LX (以前の名称は Harris 20-20 LX)	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログケーブル
Toshiba CTX 670	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.34 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル アナログケーブル フェールオーバーのみ: 9ピン モデム データスプリッタ

1. これらのコンポーネントの推奨事項および詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html にある適切な『Cisco Unity integration guide』を参照してください。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

サポートされるボイスカード

表 9 に、Cisco Unity サーバでサポートされるボイスカードを示します。

Universal (3.3V DC/5V DC デュアル電圧) PCI バージョンの新しい Intel Dialogic D/120JCT-LS カードと D/120JCT-Euro カード(シングルバス電圧(5V DC)の旧型のカード以外)の使用を推奨します。

Cisco Unity バージョン 4.1 および 4.0(x) では、旧型 (リビジョン 1) の LS カードおよび LS-Euro カードも継続してサポートされます。ただし、このカードは Cisco Unity バージョン 4.1 または 4.0(x) の新規インストール用には注文できません。また、旧型の LS カードが使用できるのは Cisco Unity サーバまたは拡張シャーシの使用可能なスロットにカードが適合する場合だけです。



注意

D/120JCT-Euro Rev. 2 カードと、その他のボイスカード (D/120JCT-Euro Rev. 1 カードを除く) は併用できません。特に、Rev. 2 カードと D/41JCT-Euro は併用できません。

現在使用されている D/41E-PCI カードおよび D/240PCI-T1 カードは、Cisco Unity バージョン 4.1 および 4.0(x) でも継続してサポートされます。ただし、これらのカードは、新規システム用または既存システムのための代替品としては注文できません。詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_eol_notices_list.html にある『*End-of-Sale and End-of-Life Announcement for the 4-Port Analog Conventional PCI and T1 Voice Integration Cards for Cisco Unity Software*』を参照してください。

2 枚以上のカードがインストールされている場合、カードは H.100 ケーブルを使用して接続する必要があります。

ISA ボイスカードは、新規の Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) システムでも、あるいは Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) にアップグレードした場合でもサポートされません。



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動 (Cisco CallManager および SIP) と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。

表 9 サポートされるボイスカード

カード	Intel Dialogic SKU ¹	カードの使用が認められている国 ²	互換性のあるカード	コネクタ
Intel Dialogic D/41E PCI (従来型の PCI、4 ポートのアナログカード)	なし (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	アメリカ合衆国、カナダ	D/120JCT-LS	RJ-11
Intel Dialogic D/41JCT-LS (uPCI、4 ポートのアナログカード)	D41JCTLS	アメリカ合衆国、カナダ	D/120JCT-LS	RJ-11

表9 サポートされるボイスカード（続き）

カード	Intel Dialogic SKU ¹	カードの使用が認められている国 ²	互換性のあるカード	コネクタ
Intel Dialogic D/41JCT-Euro (uPCI、4ポートのアナログカード)	D41JCTLSEURO	CE 標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/120JCT-Euro (Rev. 1) ³	RJ-11
Intel Dialogic D/120JCT-LS (従来型の PCI、Rev 1、12ポートのアナログカード)	D120JCTLS	アメリカ合衆国、カナダ、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、インド	D/41EPCI、 D/41JCT-LS、 D/120JCT-LS (Rev. 2)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-LS (uPCI、Rev 2、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSU	アメリカ合衆国、カナダ、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、インド	D/41EPCI、 D/41JCT-LS、 D/120JCT-LS (Rev. 1)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-Euro (uPCI、Rev 1、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSUEU (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	CE 標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/41JCT-Euro、 D/120JCT-Euro (Rev. 2)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-Euro (uPCI、Rev 2、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSUEU2	CE 標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/120JCT-Euro(Rev. 1) ³	RJ-25
Intel Dialogic D/240PCI-T1 (従来型の PCI、24ポートの T1 カード)	なし (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	アメリカ合衆国、カナダ	なし	RJ-45

1. SKU (stock-keeping unit) は Intel Dialogic がボイスカードに割り当てる製品 ID です。Intel Dialogic にボイスカードを発注するときに SKU を使用すると、確実に正しいバージョンの製品を注文することができます。
2. 特定の国または地域での適合性について疑問がある場合は、発注前にシスコにお問い合わせください。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

3. D/120JCT-Euro (Rev 2) ボイスカードと D/41JCT-Euro ボイスカードを Cisco Unity サーバで併用しないでください。両方のタイプのボイスカードが同一の Cisco Unity サーバに存在する場合、これらのカードは正しく機能しません。

AMIS を Cisco ゲートウェイと共に使用する際の推奨事項

Cisco CallManager 環境では、AMIS コールは 1 つまたは複数の Cisco ゲートウェイ / ルータを経由しますが、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）が製品を配置する前に、このようなゲートウェイと Cisco Unity との相互運用性を十分にテストすることを推奨します。AMIS の配置に際して考慮すべき内容を、次に示します。

- コール転送、コール待機または他のトーンは、DTMF シーケンスの伝送により干渉されることがあります。
- Cisco CallManager とゲートウェイに適用可能な場合は、DTMF の長さインターデジタル タイミングを 100 ミリ秒に設定してください。

これらの推奨事項は、このドキュメントの以前のバージョンに記載されていた、サポートされる Cisco ゲートウェイのリストに代わるものです。

サポートされるハードウェア (オプション)

Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) では、次のオプションのハードウェアがサポートされています。

- 外付けモデム (pcAnywhere が Cisco TAC リモート アクセス方式として選択されている場合)。モデムはお客様に準備していただく必要があります。
- システムのバックアップ用のテープドライブ。
- Cisco Unity サーバにはテープ オートローダも接続できますが、大容量のバックアップや復元に使用する場合は、専用のバックアップ サーバへのネットワークによるバックアップを推奨します。
- シリアルケーブルで Cisco Unity に接続された無停電電源装置 (UPS)。
- SCSI コントローラを経由して RAID チャンネル上に直列に接続された追加の大容量ストレージ デバイスのチェーン。Cisco TAC は、このハードウェア設定、またはこのストレージ構成に関連する問題についてはサポートしません。この構成に関連した問題については、サーバのベンダーにご相談ください。
- フォールトトレランスのために、同一の IP アドレスを共有する 2 つ以上の NIC (アクティブ/パッシブ構成)。
- 一般接続向けの Cisco Unity サーバ、特に、Cisco Unity フェールオーバー ノード間のハートビートリンクには、ギガビットイーサネットを推奨します。ただし、必須ではありません。

次のアウトオブバンド管理カードが Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされています。

- Dell Remote Assistant Card バージョン 2.0
- Hewlett-Packard Integrated Lights Out (iLO)
- Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition のすべてのバージョン
- IBM Remote Supervisor Adapter 2 のすべてのバージョン

また、Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、管理カードとの使用がサポートされているソフトウェアについては、P.41 の「サポートされるその他のソフトウェア」を参照してください。

サポートされないハードウェア

Cisco Unity との適合性が確認されていないハードウェアは、Cisco Unity サーバ上での使用やサーバへの接続がサポートされません。このため、トラブルシューティングの際に、Cisco TAC より、削除、接続解除、または無効化を求められます。

- ストレージ エリア ネットワーク (ファイバチャネル、インフィニバンド、IP パケット化などの、フレームまたはパケット スイッチ ファブリックを経由するリモート データ ストレージへの接続)。Cisco Unity ソフトウェア、必須の Microsoft コンポーネント、および関連ログファイル (またはこれらのうちのどれか) を、Cisco Unity サーバの一部である物理ディスク以外のディスクにインストールまたは再配置することはサポートされません。
- 複数の IP アドレスを使用する、2 つ以上の負荷バランス NIC (アクティブ/アクティブ構成)。NIC のアクティブ/アクティブ構成はサポートされます。

パート 3 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるソフトウェア

- 互換性に関する情報 (P.37)
- サポートされるアンチウイルス ソフトウェア (P.38)
- サポートされるファックス サーバソフトウェア (P.39)
- サポートされるモニタリング ソフトウェア (P.40)
- サポートされるその他のソフトウェア (P.41)
- サポートされないサードパーティ製ソフトウェア (P.41)
- パート 1 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) のシステム要件 (P.2)
- パート 2 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) でサポートされるハードウェア (P.28)
- パート 4 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) についてのサポート ポリシー (P.42)

互換性に関する情報

互換性に関する情報については、Cisco.com にある次のドキュメントを参照してください。

- 『互換性マトリクス : Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア』
- 『互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express』
- http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531ba9.html の 『Cisco Unity Networking Options Requirements』
- http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html の 『Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge』



注意

Cisco Unity との適合性が確認されているサードパーティ製ソフトウェアであっても、Windows Server 2003 との適合性はない場合があります。詳細については、各メーカーのドキュメントを確認してください。

サポートされるアンチウイルスソフトウェア

次のアンチウイルスソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との適合性が確認されています。

- Computer Associates InoculateIT for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.53 ビルド 627 以降
- McAfee
 - ePolicy Orchestrator バージョン 3.0 以降。ePolicy Orchestrator エージェントは、他のコンピュータに更新をプッシュするソースとして動作するのではなく、更新を受け入れるように設定されている場合にのみ、Cisco Unity サーバでの使用がサポートされます。
 - GroupShield Domino バージョン 5.0 以降
 - NetShield for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.5 以降
 - VirusScan Enterprise バージョン 7.0 以降
- Symantec
 - AntiVirus Corporate Edition バージョン 8.1 以降
 - Norton AntiVirus for Lotus Notes/Domino バージョン 2.5 以降
 - Norton AntiVirus for Microsoft Exchange バージョン 2.13 以降
 - Norton AntiVirus for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 5.02 以降
- Trend Micro
 - ScanMail for Lotus Notes バージョン 2.5 以降
 - ScanMail for Microsoft Exchange 2000 バージョン 5 以降
 - ScanMail for Microsoft Exchange 5.5 バージョン 3.x 以降
 - ServerProtect for Microsoft Windows バージョン 5.5 以降

P.44 の「アンチウイルスソフトウェアについてのサポートポリシー」も参照してください。

サポートされるファックス サーバソフトウェア

表 10 に、Exchange または Domino ゲートウェイがインストールされた環境で、Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との使用がサポートされるファックス サーバを示します。

Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との使用がサポートされるファックス サーバは、Exchange ゲートウェイがインストールされ、ファックス ページに対するイメージストリップが 1 つだけとなるよう、画像の符号化に TIFF-F ファイル形式が使用されている環境では、VPIM との使用もサポートされています。

表 10 Cisco Unity との使用がサポートされるファックス サーバソフトウェア

ファックス サーバ	Microsoft Exchange	IBM Lotus Domino	VPIM
Biscom FAXCOM for Microsoft Exchange バージョン 6.19 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Captaris RightFax	サポートされる (バージョン 6.0 以降)	サポートされる (バージョン 8.0.0120 以降)	サポートされる (バージョン 6.0 以降)
蝶理情報ライトニング FAX バージョン 5.5 R48 以降	サポートされない	サポートされる (Cisco Unity 4.0(4) 以 降の場合のみサポー トされる)	サポートされる
Cisco Fax Server	サポートされる	サポートされる	サポートされる
Esker Faxgate バージョン 7 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Fenestrae Faxination バージョン 4 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Interstar Technologies LightningFax バージョン 5.5 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Omtool Fax Sr. バージョン 3 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Optus FACSys バージョン 4.5 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
TOPCALL のすべてのバージョン	サポートされる	サポートされない	サポートされる

ファックス サーバに、ファックス カード、ファックス サーバソフトウェア、専用ファックス回線をインストールします。Cisco Unity サーバへのファックス ソフトウェアのインストールはサポートされていません。サポートされているカードのリストと統合方法については、ファックス サーバのドキュメントを参照してください。

サポートされるモニタリングソフトウェア

次のモニタリングソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との適合性が確認されています。

- Adiscon EventReporter
- Concord SystemEDGE バージョン 4.1 以降
- Hewlett-Packard OpenView (サポートされているすべての Cisco Unity ハードウェア プラットフォームにおいて、Cisco Unity、SQL Server、および Exchange サービスの IP モニタリングがサポートされています)
- Microsoft
 - Management Console (MMC)
 - Network Provider Monitor
- NetIQ VoIP Manager version 2.0 and later for Cisco Unity (Cisco Unity サーバにはエージェントだけをインストールします)

P.47 の「モニタリングソフトウェアについてのサポート ポリシー」も参照してください。

サポートされるその他のソフトウェア

次のオプションのソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) との適合性が確認されています。

- Adobe Acrobat Reader バージョン 4.0
- American Power Conversion (APC) PowerChute Plus for Windows 2000 and Windows NT バージョン 5.2.1
- Dell OpenManage。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Dell Remote Assistant Card とともに使用する場合にサポートされます。
- Advanced Logic Industries (ALI) の GW-Unify Connector バージョン 2.01
- Hewlett-Packard Insight Manager。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition カードとともに使用する場合にサポートされません。
- IBM Director。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、IBM Remote Supervisor Adapter とともに使用する場合にサポートされます。
- RSA
 - Authentication Agent 6.0 for Microsoft Windows。Windows 2003 が稼動する Cisco Unity 4.0(4) 以降のシステムでのみサポートされます。
 - SecurID ACE/Agent for Microsoft Windows の 5.0 以降。Windows 2000 が稼動する Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) 以降のシステムでのみサポートされます。
- WinZip バージョン 7.0

P.47 の「オプションのソフトウェアについてのサポートポリシー」も参照してください。

サポートされないサードパーティ製ソフトウェア

Cisco Unity との適合性が確認されていないサードパーティ製ソフトウェアはサポートされません。このため、トラブルシューティングの際に、Cisco TAC より削除を求められます。

- Cisco Unity サーバ上のファックスソフトウェアは、サポートされません。
- Cisco Unity サーバ上の Microsoft Outlook は、サポートされません。

パート 4 : Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) についてのサポート ポリシー

- [AMIS ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー \(P.43\)](#)
- [アンチウイルス ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.44\)](#)
- [Apache Tomcat のアップグレードについてのサポート ポリシー \(P.44\)](#)
- [バックアップ ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.45\)](#)
- [IBM Lotus Domino Critical Fixpack についてのサポート ポリシー \(P.45\)](#)
- [Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー \(P.46\)](#)
- [モニタリング ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.47\)](#)
- [オプションのソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.47\)](#)
- [VPIM ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー \(P.48\)](#)
- [Windows の自動更新についてのサポート ポリシー \(P.49\)](#)
- [パート 1 : Cisco Unity 4.1 および 4.0\(x\) のシステム要件 \(P.2\)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity 4.1 および 4.0\(x\) でサポートされるハードウェア \(P.28\)](#)
- [パート 3 : Cisco Unity 4.1 および 4.0\(x\) でサポートされるソフトウェア \(P.37\)](#)

AMIS ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー

Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) (Microsoft Exchange 版) および Cisco Unity 4.0(5) 以降 (IBM Lotus Domino 版) は、Audio Messaging Interchange Specification アナログ (AMIS-a) プロトコル バージョン 1 をサポートします。このプロトコルにより、他のボイス メッセージ システムとの間でボイス メッセージの交換が可能になります。

シスコでは、Cisco Unity と、サードパーティ製ボイス メッセージ システム間でボイス メッセージを交換するために、お客様が AMIS Networking を使用できることをサポート ポリシーとしてしています。ただし、そのサードパーティ製のシステムが、AMIS-a バージョン 1 のプロトコルに準拠していることが条件となります。

(このサポート ポリシーは、このドキュメントの以前のバージョンに記載されていたサポートされる AMIS システムのリストに代わるものです)。

Cisco Unity での AMIS の使用については、『*Networking in Cisco Unity Guide Release 4.0(5)*』を参照してください。このガイドの内容は Cisco Unity Release 4.1 にも適用されます。このドキュメントの Domino 版は、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_feature_guide_book09186a0080441963.html から入手可能です。このドキュメントの Exchange 版は、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_feature_guide_book09186a008044197a.html から入手可能です。

AMIS Networking は、Cisco Unity が Cisco CallManager Express バージョン 3.2 以前と連動している場合、機能しません。http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl で Bug Toolkit の警告 CSCsb81232 を参照してください。

アンチウイルスソフトウェアについてのサポートポリシー

シスコのサポートポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製ウイルス検出ソフトウェアの配置を認めています。ただし、実稼動環境で Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との間で問題が生じるリスクを最小限に抑えるために、これらの製品を配置する前に、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）側で Cisco Unity との相互運用性を十分にテストしていただくようお願いいたします。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

Apache Tomcat のアップグレードについてのサポートポリシー

Apache Tomcat ソフトウェアは、Cisco Unity ソフトウェアのインストール時に自動的に Cisco Unity サーバにインストールされます。Tomcat ソフトウェアは Cisco Personal Communications Assistant (PCA) の機能を使用できるようにカスタマイズされているので、Tomcat ソフトウェアのアップデートバージョンを Apache の Web サイトからダウンロードして Cisco Unity サーバにインストールすることはサポートされていません。インストールした場合、Cisco PCA が適切に動作しなくなります。

サーバにインストールされている Cisco Unity のバージョンによっては、Cisco Unity ソフトウェアをアップグレードすることで、Tomcat ソフトウェアの新しいバージョンを取得できる場合があります。表 11 は、Cisco Unity ソフトウェアとともにインストールされる Tomcat のバージョンを一覧表示しています。

表 11 Cisco Unity ソフトウェアとともにインストールされる Apache Tomcat ソフトウェア

Cisco Unity のバージョン	Apache Tomcat のバージョン
4.1(1)	4.1.24
4.0(3) ~ 4.0(5)	4.1.24
4.0(2)	4.0.3
4.0(1)	

バックアップソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製バックアップソフトウェアの配置を認めています。ただし、実稼動環境で Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との間で問題が生じるリスクを最小限に抑えるために、これらの製品を配置する前に、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）側で Cisco Unity との相互運用性を十分にテストしていただくようお願いいたします。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

Cisco Unity のバックアップについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある適切なバージョンの『Cisco Unity Maintenance Guide』を参照してください。

IBM Lotus Domino Critical Fixpack についてのサポート ポリシー

Critical Fixpack はすべて自動的にサポートされます。

Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー

Microsoft では、Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Exchange Server 2003、Exchange 2000 Server、SQL Server 2000、MSDE 2000、Internet Explorer、および IIS のアップデートを毎月提供しています。これらのアップデート(セキュリティ ロールアップ パッチ、セキュリティ アップデート、クリティカル アップデート、パッチ、およびホットフィックスなど、さまざまな名前と呼ばれる)は、特定の問題を修正する変更に限定されています。一般的な欠陥の修正や新しい機能は、これらには含まれていません。シスコはこれらすべての Microsoft アップデートに対して、Microsoft がリリースしたその日から適合性を確認します。いつ Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Bridge サーバをアップデートするかを決定するため、サーバソフトウェア メンテナンス ポリシーに従って Microsoft アップデートを評価することを推奨します。社内にそのようなポリシーがない場合は、Microsoft アップデートがリリースされた時点で、それをサーバに適用することを推奨します。Cisco TAC では、このようなアップデートがインストールされている Cisco Unity システムへのサポートを提供します。

また、Microsoft では、一般製品のリリース以降に作成された修正を含むサービス パックをリリースすることがあります。これには、アップデートとしてリリースされた修正のほとんどが含まれます。サービス パックの対象は広範囲なので、変更が Cisco Unity または Cisco Unity Bridge に悪影響を与えないように各サービス パックを徹底的にテストする必要があります。Cisco TAC では、Cisco Unity または Bridge で新しいサービス パックの適合性が確認されるまではそれらのサービス パックをサポートしません。

適合性が確認されていないサービス パックはインストールしないでください。Cisco TAC では、そのようなサービス パックをアンインストールしない限り、問題解決の支援を行いません。

シスコでは、適用可能な Microsoft サービス パックがリリースされてから 60 日以内に、そのサービス パックをリリース済みの Cisco Unity および Bridge の各バージョンに適用できるかどうかを発表します。適用できる場合、新しいサービス パックは Cisco Unity および Bridge の推奨サービス パックとなります。

アップデートとサービス パックは、IBM Lotus Domino サーバや Exchange メール サーバなどの Cisco Unity 以外のサーバにも適用できます。そのようなアップデートおよびサービス パックが、シスコ製品とお客様のインフラストラクチャ間の相互作用に関連する特定の問題を解決するものでない限り、シスコはそれらのアップデートやサービス パックをインフラストラクチャのサーバおよびクライアントに適用することを要求しません。メール サーバのサービス パックを適用する際は、組織内のすべてのメール サーバにサービス パック レベルを適用する Microsoft のベスト プラクティスに従うことを推奨します。メール サーバ、ドメイン コントローラ、およびグローバル カタログ サーバに加え、クライアント PC とボイスメール アクセス装置 (PDA など) はすべて、お客様のインフラストラクチャの一部と考えられます。

シスコは、Cisco Unity および Bridge のメジャー リリースとマイナー リリースに対して推奨される指定の Microsoft コンポーネントのサービス パックを、最大 2 つまでサポートします。後続のサービス パックがリリースされると、Cisco Unity および Bridge の次のメジャー リリースまたはマイナー リリースで推奨される通り、シスコは古い方のサービス パックのサポートを打ち切ります。

サービス パックを Cisco Unity または Bridge と使用することが推奨として認められている場合、その推奨サービス パックをサポートするために特定のシスコ製品のバージョンが必須であるとの断りがない限り、このサービス パックは Cisco Unity または Bridge の現在サポートされているすべてのバージョンでサポートされます。

モニタリングソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製モニタリングソフトウェアの配置を認めています。ただし、実稼動環境で Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との間で問題が生じるリスクを最小限に抑えるために、これらの製品を配置する前に、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）側で Cisco Unity との相互運用性を十分にテストしていただくようお願いいたします。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

オプションのソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様がバックアップ、モニタリング、およびセキュリティのために Cisco Unity サーバにサードパーティ製ソフトウェアを配置することを認めています。ただし、実稼動環境で Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との間で問題が生じるリスクを最小限に抑えるために、これらの製品を配置する前に、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）側で Cisco Unity との相互運用性を十分にテストしていただくようお願いいたします。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

VPIM ボイス メッセージ システム についての サポート ポリシー

Cisco Unity 4.1 と 4.0(x)(Microsoft Exchange 2000/2003 版) および Cisco Unity 4.0(5) 以降(IBM Lotus Domino 版) は Voice Profile for Internet Mail (VPIM) バージョン 2 をサポートします。この機能により、他のボイス メッセージ システムとの間でボイス メッセージ、ファックス、およびテキスト メッセージの交換が可能になります。VPIM は、Cisco Unity (Exchange 版) システムと Cisco Unity (Domino 版) システムとの間のメッセージ送受信など、異なるディレクトリを使用する Cisco Unity サーバ間でのメッセージ送受信に使用できます。

Cisco Unity がネットワーク接続されるリモートのボイス メッセージ システムは、同一の Exchange 組織内に Cisco Unity サーバとして存在することはできません。

シスコでは、Cisco Unity とサードパーティ製ボイス メッセージ システム間でボイス メッセージを交換するために、お客様が VPIM Networking を使用できることをサポート ポリシーとしています。ただし、そのサードパーティ製のシステムが、Internet RFC 2421 で定義された VPIM バージョン 2 の仕様に準拠していることが条件となります。適合性に関する説明書、および RFC 2421 VPIM バージョン 2 の仕様については、Open Group (opengroup.org) VPIM の Web サイトを参照してください

(このサポート ポリシーは、このドキュメントの以前のバージョンに記載されていたサポートされる VPIM システムのリストに代わるものです)



(注)

Cisco Unity (Microsoft Exchange システム版) の場合、最新バージョンの Cisco Unity Voice Connector for Microsoft Exchange 2000 およびご使用の Cisco Unity のバージョンでサポートされる Exchange 2003 を使用することをお勧めします。VPIM の相互運用性に関する問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、サポートされる新しいバージョンの Voice Connector へのアップグレードを求めることがあります (可能な場合)。Cisco Unity VPIM ブリッジ ヘッド サーバと Voice Connector のサポートされるバージョンの組み合わせについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531ba9.html にある『Cisco Unity Networking Options Requirements』を参照してください。

VPIM ファックス エンコーディングは TIFF-F 仕様に基づいています。Cisco Unity with VPIM でサポートされるファックス サーバについては、P.39 の「サポートされるファックス サーバソフトウェア」を参照してください。

Cisco Unity での VPIM の使用については、『Networking in Cisco Unity Guide Release 4.0(5)』を参照してください。このガイドの内容は Cisco Unity Release 4.1 にも適用されます。このドキュメントの Domino 版は、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_feature_guide_book09186a0080441963.html から入手可能です。このドキュメントの Exchange 版は、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_feature_guide_book09186a008044197a.html から入手可能です。

Cisco Unity Express との相互運用性

表 12 に示すバージョンの組み合わせを使用することにより、VPIM Networking を使用して Cisco Unity と Cisco Unity Express システム間のボイスメール メッセージ ネットワーキングを提供できます。

表 12 Cisco Unity と Cisco Unity Express のバージョンの互換性

Cisco Unity メッセージストア	Cisco Unity のバージョン	Cisco Unity Express のバージョン
Microsoft Exchange 2000/2003	4.0(4) ~ 4.1(1)	2.1(1) 以降
IBM Lotus Domino	4.0(5) ~ 4.1(1)	2.1(2) 以降

Windows の自動更新についてのサポート ポリシー

Windows 自動更新 (WAU) は、[更新をダウンロードする前に通知し、コンピュータにインストールする前に再度通知する] オプションが選択されている場合、Cisco Unity 4.1 または 4.0(x) サーバと Cisco Unity Bridge 2.1(x) または 3.0(x) サーバでサポートされます (Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスク リビジョン 12 以降を使用して、Cisco Unity または Bridge サーバのプラットフォームを構成する場合は、WAU は無効になります)。



注意

WAU は、アップデートをチェックするためだけに構成し、アップデートをインストールするためには構成しません。Microsoft アップデートのほとんどは、入手可能になったらすぐに Cisco Unity または Bridge サーバにインストールできます。ただし、Microsoft サービス パックに対しては、Cisco Unity および Bridge での適合性を確認する必要があります。WAU では、サービス パックとその他のアップデートを区別できません。

WAU のメリットは、その多くが Windows のセキュリティの脆弱性に対処するパッチに関連するものです。Cisco Unity サーバをボイス メッセージ用に構成し、ネットワークやインターネットに接続しない場合、WAU からのアップデートによって防げるようなセキュリティの脆弱性は、サーバには存在しません。ボイス メッセージの構成では、WAU を使用するためだけに Cisco Unity サーバをインターネットに接続しないようにしてください。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARtNet、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2002-2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501